長野吉田高校進路室だより

1，2年生版
－12月号－
2024.12.05.発行

３学期のスタートにあたって

２学期期末考査を終えて、学校のカレンダーは３学期になりました。年末年始休業もあり、日数的には短い３学期ですが、現状の課題を見つけ今後の改善につなげる好機です。

◆　1，2年次の基礎学力は大学合格に直結する

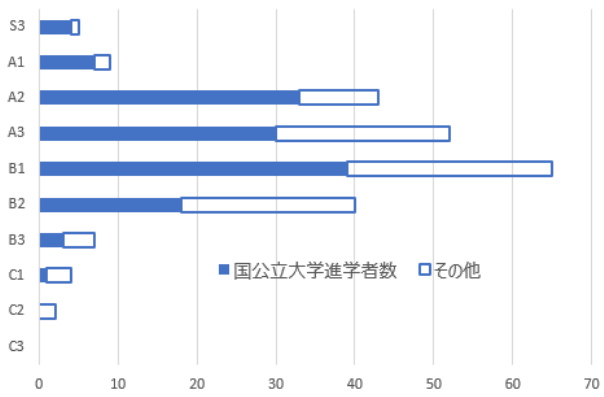
これまで**学習時間と学力は明確に比例する**ことを示しました。けれど、皆さんは「1，2年生の学力は受験とは関係ない」とか、「受験勉強さえ始めれば成績は伸びる」などと勘違いしてはいないでしょうか？　今回は基礎学力と受験学力の関係を伝えようと思います。

下記は、昨年度（2024年度）卒業生の国公立大学進学者数とスタディーサポート（英数国）の結果です。1年次にA3以上の成績に達していると合格率が高いこと、逆にB2以上の基礎学力を身に付けていないと合格はかなり難しいことがわかります。また、2年次には、基礎学力をＡ３以上身につけておけば合格率が高く、逆に基礎学力が足りないＢ２以下の成績では合否の振れ幅が大きく、その後の学習によって合否が変化することがわかります。

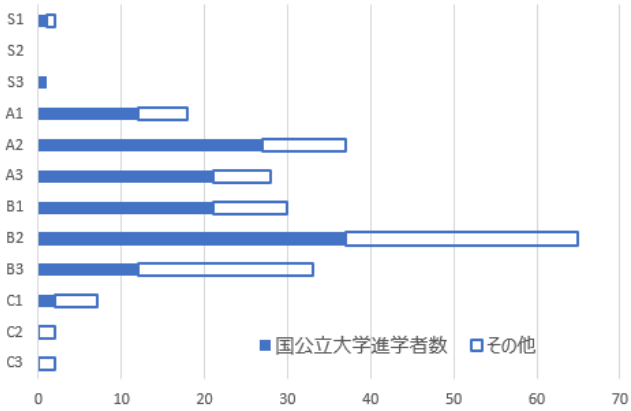
また、個別のケースをみると、1年生から2年生にかけてＡ１以上（難関大の目安）へ向上させ合格した先輩がいる一方で、実力をＢ３以下に下降させ、結果的に残念ながら不合格につながった例もあります。つまり1,2年次からの「基礎学力の不備＝学習時間の減少」で、つまづいたケースが多く見受けられました。

１，2年次の地道な学習で培われる基礎学力こそが、あなたの進路希望を実現します。**これから春まで４ヶ月、「基礎学力の養成」を学習目標にしてください**。とくに2年生は新年を迎えると、自分が受験する共通テストまで残り１年間のカウントダウンが始まります。そのため、これからの2年3学期を「3年ゼロ学期」と呼び、1月からは本格的な受験勉強をスタートしなければなりません。まずは大学入試を意識して日々の学習に取り組むことから始めましょう。

＜１年９月の基礎学力と国公立大進学者数＞



＜2年９月の基礎学力と国公立大進学者数＞



12 月の目標

共　通	土曜日・日曜日の学習室を利用して学習習慣を維持する。
１年生	期末考査の結果に向き合い今後の高校生活を展望する。
２年生	３年ゼロ学期突入、本格的な受験勉強の準備をする。

１年生が本校の一員となった今年も、早いもので残すところ１ヶ月余りとなりました。本格的な寒さが到来する時期ですが、体調管理に留意して、元気に一年の締めくくりに臨みましょう。

◆探究合同発表会…12／12（木）

総合的な探究の時間の成果発表会です。先月の発表では２年生全生徒が１年生に向けてグループ発表の形でこの一年間の探究活動を発表します。12 日には２年生の代表者による発表会を実施します。この１・２学年とも年間の取り組みの集大成となります。

◆2 学期成績会議…12／11（水）

成績会議では、全校の先生方が君たち全員の成績に目を通します。答案の返却とその追試はもちろん、単位修得に必要な課題レポートや作品の提出が求められている生徒もいることでしょう。中学校とは違い、高等学校の進級・卒業のためには単位の履修と修得が必要ですが、これは大学ほか上級学校のシステムとも同じです。

◆保護者懇談会…12／19（木）～25（水）

「2 学期通知票」「各模試の結果」「来年度選択科目」「進路希望調査」などをもとにして、2 学期の高校生活を振り返り、新年に備えます。

◆12／27（金）～1／6（月）冬季休業

26（木）終業式からは、冬期休業となります。冬期休業を有効に利用して、休み明けの「実力テスト」や「記述模試（1／18）」を目標にして、計画的に学習を進めましょう。新年あけてから**１／4（土）、5（日）、6（月）は自習室開放日です**。活用してください！

今月の３年生　「特編Ａで最終の実戦力養成を目指す」

１月 18 日、19 日の大学入学共通テストまで 50 日を切りました。3 年生は期末考査以降、受験直前期の学力養成を目指し、特別編成授業に突入しました。共通テストは表のような長丁場で、受験には学力だけでなく気力と体力も不可欠なことが分かりますね。1，2 年生も気遣いをもって、3 年生を応援しましょう！

共通テスト１日目	共通テスト２日目
地歴公民２科目 9:30 ～ 11:40	理科２科目 9:30 ～ 11:40
地歴公民1科目 10:40 ～ 11:40	理科１科目 10:40 ～ 11:40
昼休み	昼休み
国語 13:00 ～ 14:30	数学① 13:00 ～ 14:10
英語リーディング 15:20 ～ 16:40	数学② 15:00 ～ 16:10
英語リスニング 17:20 ～ 18:20	情報 17:00 ～ 18:00

【お願い】

- 昼休みを除く休み時間、本館廊下では静粛にすること。
- 情報教室には本館3階を通らずに、図書館前から本館西階段を利用すること。

12月		
1 日	○	※
2 月		
3 火		
4 水		
5 木	P　SC	
6 金		
7 土	○ 駿台プレ共テ[3]（希望者）	※
8 日	○ 駿台プレ共テ[3]（希望者）	※
9 月	A	
10 火		
11 水	5分短縮	
12 木	探究合同発表会[1･2]　SC	
13 金		
14 土	○	※
15 日	○	※
16 月		
17 火		
18 水		
19 木	④⑤⑥	
20 金	④⑤⑥	
21 土	○	※
22 日	○	※
23 月	①②③	
24 火	①②③	
25 水	A ①②③	
26 木	①②③ 終業式	
27 金	○	※
28 土	○	
29 日	○ 閉庁日	
30 月	○ 閉庁日	
31 火	○ 閉庁日	

保護者懇談期間

※印は自習室開放日

キャリア探究活動の報告

「吉田小学校 教育体験学習」（11/12）

吉田小学校での教育体験学習が行われました。例年より多く、1，2年生 19 名が参加を希望しました。

小学校の各学級に分かれて、授業の見学、児童のノートやワークシートの点検、体育の実技指導、図工の製作補助などを行う他、児童と一緒に畑仕事をしたり、フルーツバスケットをしたりするなど、子どもたちと一緒に体を動かす体験もできました。高校生活や高校入試のことをインタビューされた授業もあったようです。“先生”の立場で子どもたちと触れ合う貴重な体験ができ、有意義であったと思います。帰り際、多くの小学生に囲まれて、「また来てねー」と言われながら別れを惜しむ光景も美しかったです。

今回の学習は、改めて自分の進路を考える機会になったようです。教育系の進路を考えている生徒が多くいましたが、体験することによって学べたこと、得られたことは多く、参加生徒全員が教育系に一層関心を示すことになり、たいへん頼もしい感じがしました。

自分が生徒である立場からみた教師の姿と、“先生”と言われる立場からみた教師の姿は何が違うのか。経験しなければなかなかわからない貴重な財産を得られた機会になったと思います。

- 短い時間での体験実習でしたが、とても 2 時間とは思えないぐらい濃密で楽しく、今後につながる良い経験になりました。私はこの体験学習を通して数多くのことを学びました。将来、絶対に教職に就くという夢が叶えられるようにこれからも一生懸命勉強するだけでなく、視野も心も広く、児童が安心して頼ることのできる先生にふさわしい人間になりたいです。

- 今回、教育体験学習に参加して、私は更に先生になりたいと強く思うようになりました。また、生徒違に寄り沿って、生徒たちに親身に接し、生徒たちから信頼されるような、心のやさしい先生になりたいと思いました。そうなるため、 私は日頃からもっと周囲を見るようにしようと思います。学校や家、町中で困っている人がいたら声を掛けるようにしていきたいです。そうやって視野を広げていって、いつかは、今回の吉田小学校で担当したクラスの先生のような、立派な先生になりたいなと思います。

- 今までは生徒側からしか知ることのできなかった教師という職業について今までとは違う視点で見ることができて、自分の視野を広げるとても良い経験になりました。

- 先生は本当にすごい職業だなと思いました。やりがいはすごくあるんだろうなと思いました。今回参加したことで、私の未来のビジョンが決まったので、目標に向かって努力していこうと思いました。学ぶことがいっぱいあったので、参考にして生きていこうと思いました。参加して本当に良かったです!

- 一緒にいて本当に楽しかったです。「１時間目から来てくれれば、一階におにごっこして遊べたのに」って残念がる姿が愛しくて １時間目から行きたかったと本当に心から悔しく思いました。「明日も来て！って先生に言っておいた!!」「いい図工の先生になれるよ!!」吉田高校の文化祭行くね!!」「お勉強がんばってねー!!」の純粋さが染ました。

「信州大学諏訪東京理科大学 クロストーク講座」（11/22）

信州大学と諏訪東京理科大学に在籍する大学生と大学院生と大学生活についての座談会が開催されました。本校の理系 1、2年生 19 名が参加しました。前半は、大学生の研究テーマについてプレゼンの発表があり、後半は4～5人にグループに分かれて懇談（クロストーク）を行いました。大学での学びを実感し、大学生活をイメージすることができたのではないでしょうか。

クロストーク講座　プレゼンテーション内容

諏訪東京理科　工学部　機械電気工学科	農業残渣を利用した Mn-Carbon ハイブリッドキャパシタの電極設計
信州大学理学部 理学科 地球学	温泉水の起源を探る
信州大学　大学院　理学部　物質循環	湖での有毒藍藻の抑制
信州大学 農学部 生命機能科学	農学部 生命機能科学での学び
信州大学　医学部　保建学科検査技術	臨床治験と企業連携

- 今回のクロストーク講座を通して印象に残ったことは、進路を固めた時期が人それぞれで、バラバラだということです。志望校を決定することで勉強に対する意欲も向上すると言われていることから早く自分のやりたいことを見つけなければいけないと焦っていましたが、無理に早く決定せずに、色々な体験、会話(今回のようなクロストークなど)を通して真に自身のやりたいことを決定していくのも良いのではないかと思いました。

- 直接話を聞くことで、これまで得てきた情報からはイメージできなかった事がイメージできて良かった。大学に行ったら、いずれ研究について考えないといけない」という堅い認識が、クロストークを通じて、少し柔らかくなったので良かった。また、「自分はこの分野であるべき」というマインドから一度離れて、他の分野では何ができるかと一度調べたいと思いました。

「保健医療向けキャリア講座　小児リハビリ体験」（11/22）

保健医療系、教育系、福祉系を志望する生徒（37 名）を対象に、長野保健医療大学の理学療法学専攻准教授の山本良彦先生の講義と演習が行われました。講義では、理学療法の話に限らず、「チーム医療」や「療育」なども学び、将来の仕事についての視野が広がりました。

演習では、ストレッチの効果体験とダウン症児(2 歳～小学5年生)8名を招き、生徒4～5名のグループに分かれ、ボール遊び、サーキット、体操をしました。最初は緊張していた生徒も、子どもの特性を知るにつれて距離が縮まり、とても賑やかな雰囲気で交流し、さまざまなことを感じ取ったようです。

- 患者さんの「社会復帰を手助けする」という言葉に改めて医療の仕事に携わりたいと思った。
- 患者さんのニーズに合わせて専門外の知識も必要だと知り、働き方についても考えることができた。
- 作業療法に興味を持ったのでもっと詳しく調べたい。
- 医療だけでなく、福祉、保育、教育、心理、就労の分野からも支援ができることを知った。
- 前側の筋力を使うと体が柔らかくなって床に手がついた。

- 「ダウン症だから」という配慮はいらないと感じた。その中でもどんな配慮が必要か知りたい。
- 私たちの真似をして、「どうぞ」「ありがとう」と言えるようになったことが印象に残った。
- 共感性が高く、私たちが笑顔でいると楽しそうに一緒に笑ってくれて、痛がると心配をしてくれた。
- 一人ひとり個性があり、その子に合わせて遊び方を変えたり、接し方を変えたりする大切さがよくわかった。最終的にその子が笑顔で遊べるようになってうれしかった。